

パートナー・協力組織

主なご支援いただいた組織・団体

- ・国連世界食糧計画（WFP） ・外務省 ・（独）国際協力機構（JICA） ・（独）環境再生保全機構
- ・国際母子手帳委員会 ・（公社）日本WHO協会 ・（公財）味の素ファンデーション
- ・（公財）風に立つライオン基金 ・（公信）地球環境日本基金 ・長崎大学 ・（一社）日本家族計画協会
- ・カネソン（株） ・（株）コペル ・（株）ティーエーネットワーク ・アサヒグループ食品（株）
- ・READYFOR（株） ・CAWeC (Community Action for the Welfare of Children) ・ポコ・ア・ポコ

会員・マンスリーサポーター（2022年12月末現在）

正会員	賛助会員	マンスリーサポーター
個人32人、法人1団体：ユニ・チャーム（株）	個人21人、法人1団体：ピジョン（株）	60人

役員・アドバイザー

代表理事	横田 雅史（シェア＝国際保健協力市民の会理事、NPO法人ケニアの未来理事）
理事	風間 春樹（株式会社セイエル鳥取営業所 管理薬剤師） 神谷 保彦（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授） 當山 紀子（大阪大学大学院医学系研究科附属次のいのちを守る人材育成教育研究センター 特任准教授） 西原 三佳（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師） 藤井 千江美（高知大学医学部看護学科 助教） 李 節子（長崎県立大学看護栄養学部 教授）
監事	田中 徹二（国際連帯税フォーラム 代表理事）
顧問／シニアアドバイザー	中村 安秀（日本WHO協会理事長、大阪大学名誉教授）
テクニカルアドバイザー	大西 真由美（長崎大学生命医科学域（保健学系）教授） 板東 あけみ（国際母子手帳委員会 事務局長） 森元 泰行（Alliance Bioversity International and Intenational Center for Tropical Agriculure (CIAT)専任研究員） 渡邊 洋子（元東京都八王子市保健所 所長）

会計報告

2022年度（2022年7月～2023年6月）

前期繰越収入	22,399,826円 55,720,555円	支出 次期繰越	68,192,872円 9,927,509円
--------	----------------------------	------------	---------------------------

【HANDS は認定 NPO 法人です】

「認定 NPO 法人」とはNPO法人のうち「一定の基準を満たしている」と諸官庁が認めた法人のことで、認定NPO法人への寄付は次のような税制待遇の対象となります。

- ・個人の場合：「寄付金控除」を受けることができます。寄付額の40%が戻ってきます。
- ・相続人が相続財産を寄付した場合：寄付した相続財産は相続税が非課税になります。

HANDSへのご支援のお願い

活動をより充実させ、より広く一般に知っていただけるよう、皆さまからのご支援をお願いしております。

【会員になる】	【寄付をする】
・正会員(会員総会での発言権、議決権あり)： 個人:10,000 円/年 法人:100,000 円/年	・マンスリーサポートプログラム： 毎月 500 円～のご希望額をクレジットカードでお引落し (手数料は HANDS 負担)
・賛助会員： 個人: 5,000 円/年 法人: 50,000 円/年	・お好きな時に、お好きな額、活動を選んで応援(活動指定なしも可能です。) 1. ケニア事業 2. パプアニューギニア事業 3. シエラレオネ事業 4. 母子手帳活動 5. リトルベビー活動 6. HANDS運営

お振込またはクレジットカードでご寄付いただけます。

郵便振替
00170-6-409760
特定非営利活動法人HANDS

・通信欄に会員種別または指定事業名をご明記ください。

銀行振込 三菱UFJ銀行
本郷支店 [普通] 0015114
特定非営利活動法人HANDS

・表紙の連絡先へ会員種別または指定事業名をご連絡下さい。



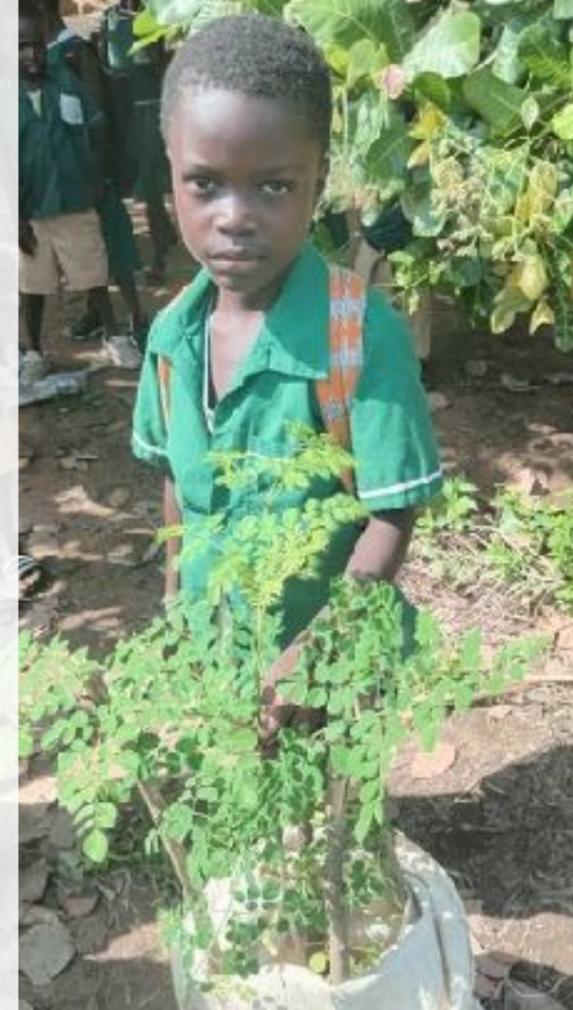
<クレジットカードはHPからどうぞ>

2022-2023

活動報告

Our Mission

保健医療の
仕組みづくりと
人づくりを通じて、
世界の人びとが
自らの健康を
守ることのできる社会を
実現するために
行動します。



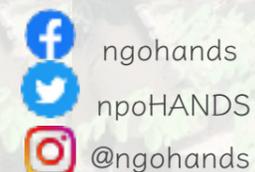
(認定)特定非営利活動法人

HANDS

〒110-0015
東京都台東区東上野1-20-6
丸幸ビル3F

TEL : 03-5738-7135
Email: info@hands.or.jp

FOLLOW HANDS!



www.hands.or.jp



2022-23年を振り返って…

ケニアでは2017年から継続してきた幼稚園を中心とした栄養改善事業で、新たに2歳と3歳児を対象にした親子教室という試みを開始しました。また新たに3郡の小学校で始まった伝統食文化の記録を通じて生物多様性を守る活動では、子供たちと地元の伝統知保有者をつなぎ、地球環境に配慮した豊かな伝統文化を共に学んでいます。

HANDSの主な活動



ケニア Kenya

1. 幼児の栄養改善事業
2. サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及
3. 子供たちと守る生物多様性

2005年からケニアのケリチョー郡を中心に活動を行ってきました。活動当初の「安全・安心な妊娠・出産」「産後ケア、新生児・乳児の栄養改善」など主に母子保健サービスの改善から、2012年からは保健医療施設から遠く離れた住民への病気の予防啓発のための、保健ボランティア（CHV）の育成を、そして2017年から継続してきた幼稚園を中心とした幼児の栄養改善事業では新たに草の根レベルの活動を開始しました。一方で、地球環境に配慮した包括的な活動がさらに広がりを見せています。

2022-2023年は、2017年来の幼児の栄養改善事業の経験を活かしながら、より効果的な方法を探るために、幼稚園での栄養改善活動に加え新たに2歳と3歳児を対象にした親子教室という、現地では珍しい試みを開始しました。地域保健プロモーター（CHP）



（旧CHV）や学校関係者、教育局、保健局、農業局、さらに小学校農業クラブメンバーたちも共に活動しています。

また、サトウキビ農家へのアグロフォレストリー普及では、自生樹木の苗木の育成や植林とともに、有機農法や伝統野菜の普及を通じて、環境や健康へ配慮しながら農家さんの収入・生活向上を目指してきました。また、新たに3郡の小学校で始まった伝統食文化の記録を通じて生物多様性を守る活動では、各地の住民自らが、失われてしまったり、失われつつある伝統知を調べ、子供たちと地元の伝統知保有者をつなぎ、地球環境に配慮した豊かな伝統文化を共に学び、地球と友に健康的に生きる知恵を継承しています。



画、次世代を守る！赤ちゃんの今と未来の健康セミナー ～リトルベビーとも育て～」を開催し、全国から約100名が参加しました。

- ・クラウドファンディングなどで全国の保護者サークルの活動を資金的に支援しています。

シエラレオネ Sierra Leone

農村部において、小学校から地域へと育むモリンガを活用した持続可能な栄養改善のしくみ作り

2019年4月から「将来を担っていく子どもたちが、食と栄養の大切さを知り、自らの手で持続した栄養改善を行っていきけるような仕組みづくり」を目標にカンビア県にて活動を開始しました。そして地元 NGO（CAWeC）と協力し、現在は12か所の小学校や周辺の敷地に「モリンガ野菜農園」を設立し、そこで収穫できた野菜や多くの栄養素を含むモリンガ葉を給食に加えることで、児童たちの栄養強化を目指しています。教師と児童、そして2022年からは各小学校の地域に存在する母親支援グループが協働して活動を行い、栄養に関する研修、モリンガ葉粉末の製造貯蔵研修、モリンガ料理講習会も定期的に行っています。母親支援グループも活動に参加することで、学校給食に十分なモリンガ葉粉末の提供



と、地域女性への食と栄養の啓蒙も目標にしています。

2023年8月からは、より安定してモリンガ葉を給食に提供すること（現在は各学校で曜日を決めて週2回提供）、そして自宅でもモリンガ葉を使った料理が提供される仕組みづくりを目標に、各児童が自宅でもモリンガの木を育てる「マイ・モリンガ」の活動にも取り組み始めました。現地の方々が主体となった「自立・持続可能な栄養改善」を念頭に活動を継続しています。

パプアニューギニア Papua New Guinea

ライガム郡山岳地域の母子保健サービス改善事業

2014年から山岳地域のエンガ州ライガム郡で活動を行っています。厳しい地理的条件や医療体制により適切な保健医療サービスが届きにくく、また社会的背景や伝統的習慣により、出産に関わる問題で亡くなる女性も多くいます。このような状況を改善するため、地元の保健局と協力して、病気や出産に関わる問題の予防方法を人々に伝える村落保健ボランティア（VHV）の育成と、移動式診療のサービス改善を支援してきました。

それらの活動により、地域住民の保健知識が向上し、行動にも変化が見られるようになり、また移動



式による定期的な診療や産前健診の環境も整えることができました。

今後は、今までの活動の成果をもとに、さらに母子保健サービスの改善をめざして活動を行っていく予定です。具体的には、VHVによる母親学級の実施や産前、産後健診の充実、また分娩環境の整備などを中心に活動を行っていきたいと考えています。

母子手帳・リトルベビー活動 Japan

- ・リトルベビー保護者サークル支援
- ・母子手帳・リトルベビーハンドブック普及推進

・海外の母子手帳に関する情報提供、母子手帳の貸出しを行い、途上国の母子保健関係者に対する研修（JICA主催）に講師の派遣を行っています。

・小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）の保護者サークルなどの情報発信に加え、11月3日に静岡県で他団体と共催にて「世界早産児デー特別企